



第二十五圖 京城帝國大學

京城帝國大學法文学部の学問的遺産

Keio Imperial University Faculty of Law and Letters Graduates and their Academic Contribution

日本人卒業生の帰還と学界編入



京大東洋文化研究所蔵 京城帝國大學法文学部

報告者 **金知原** [キム・ジウオン] (東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻 博士課程)
KIM Jiwon (PhD Student, Department of Area Studies, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo)

従来の戦後京城帝国大学の構成員に関する研究は、主に「京城学派」と呼ばれる京城帝大の教員について行われ、官僚以外の卒業生に関する研究も韓国側で行われた朝鮮人学生に集中してきました。本報告では今まであまり注目されてこなかった京城帝大法文学部の日本人卒業生の、帰還後における学界進出について語ります。京城帝大は「朝鮮研究・東洋学の研究拠点」としてのアイデンティティーの表明でしたが、研究者になった日本人卒業生にはその傾向はあまり見られなかったことに注目して「彼らの戦後」を紹介します。

2.18 Thu 17:00-18:00

Zoomを利用したオンライン開催

以下の登録フォーム (<https://forms.gle/HV4HTjHjkP9r8sG38>) またはポスター内のQRコードより前日までにお申し込みください。※ZoomのURLを当日正午までにE-mailアドレスにお送りします。

◆主催
東京大学 東洋文化研究所、日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Institute for Advanced Studies on Asia (IASA), Network for Education and Study on Asia (ASNET), The University of Tokyo

◆共催
科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究 (代表:長沢 栄治)
Research Project on Islam and Gender: Towards a Comprehensive Discussion

